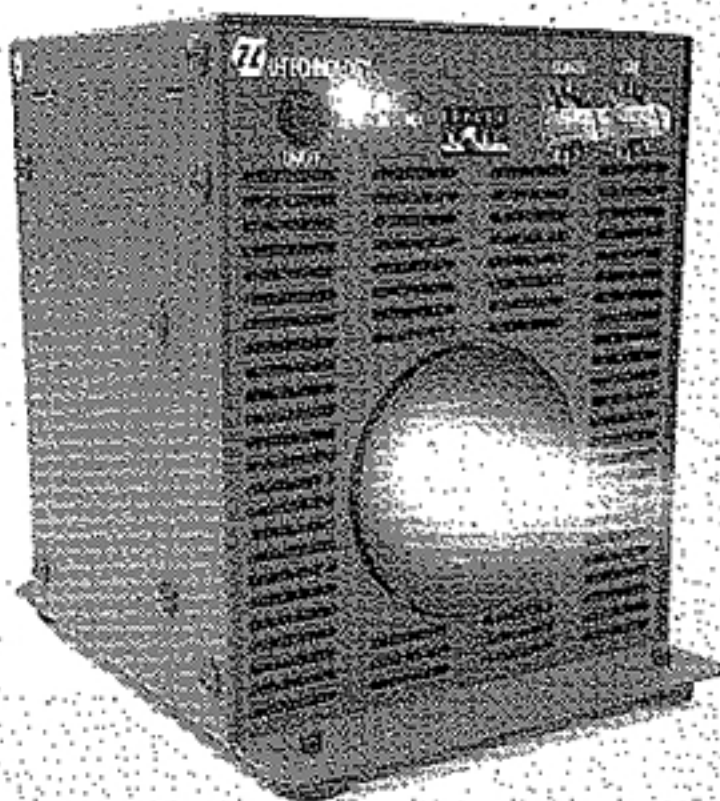


ガラス検査用点光源装置 LED光源で耐久性30倍 ユーテクノロジー

ユーテクノロジー

(東京都板橋区、西田

秀一社長、03・69



04・3498)は、ガラスなどの検査に使う点光源装置に関し、光源をLED(発光ダイオード)に置き換えることに成功した。従来製品と比べて約30倍の耐久性を持つとい

う。オープン価格だが、43万円(消費税抜き)程度を想定する。光源の長寿命化に加え、消費電力も削減できる。すでに国内のガラスメーカーへの納品を開始した。2019年12月末までに500

光源をLEDに置き換え耐久時間を3万時間に伸ばした点光源装置

台の販売を目指す。検査用点光源装置は透明フィルムなどの欠陥を拡大投影して検査する。従来の装置はキセノンランプ(水銀灯)製で、耐久時間は約1000時間だった。

今回、光源にLEDを採用したことで、耐久時間を約3万時間に延ばした。消費電力も従来製品の250ワッ

から108ワッに削減した。

これまで検査用点光源装置は、レンズを使ってキセノンランプの光を集めて検査していた。LED化は技術的に難しいとされていたが、同社はレンズを使わず特殊な反射光学系の技術を採用し、LED化に成功した。この技術は現在、特許を申請している。